

清水小学校だより 11

令和5年7月7日

文責：藤芳 秀樹

教育目標 「いいね」で認めあい、支えあい、伸ばしあう学校

木曜日（6日）の全校朝会で、清水小が伝統的に取り組んできた校訓について、こんな話をしました。

清水小学校には昔から校訓というものがあるって、みなさん知っていますか。

校訓ってなんだろう？ これは「学校のみんなでこれを頑張っていこうという目標」です。

君たちのお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、いや、もっと昔の人も、清水小に通っていた人たちはみんな校訓をがんばってきました。

清水小の校訓は「**清く** **かしこく** **たくましく**」です。

1つ目の「**清く**」これは心がきれいで健康なことです。人はみな清い心をもって生まれてきます。でも、うそをついたり、自分でいけないと思いながらも悪いことをしたりすると少しずつ、心が健康ではなくなります。逆に、進んでいいことをしたり、正直にがんばったりすると、どんどん清い心になります。

2つ目の「**かしこく**」これは勉強がわかるだけでなく、普段の生活で「こうするともっと良くなる」と工夫できることです。だれにでも苦手や難しいことはあります。でもそれを「どうすればよくなるかな？どうすればうまくできるかな？」と自分で考えて、進んでやってみることがこの目標です。

3つ目の「**たくましく**」これは健康で、失敗やちょっときついことがあってもがんばり続けることです。決して力が強いことやけんかすることではありません。外国で起きている戦争だって、お互いの思いをしっかりと話し合えば防ぐことができました。失敗はいいことだと思います。だって何かにチャレンジした証拠だからです。チャレンジしなければ失敗もできません。そして、失敗を次にいかすことで人は成長します。逆に「失敗したからもうチャレンジしない。」…これではせっかくあなたがもっている可能性が狭くなってしまいます。

1学期も今日を入れてあと11日になりました。昔からがんばってきた校訓を頭において、1学期のいろんな活動や勉強のまとめをしましょう。そして、よい夏休みを迎えてください。

校訓は、短い言葉の中に大切な要素がたくさん詰まっていると思います。子どもたちがこれを覚え、自分なりに解釈を広げて、自分の成長に生かしてくれるといいなと思います。

実感、協力いろいろ

6月は大きな行事もなく、学習が進む時期でした。校内を歩いて回ると、いたるところで実感のある活動、子ども同士が協力し合う活動が見られました。先日の学級懇談会でも話題になったかもしれませんが、いろいろな学年の様子をここでご紹介します。

上から「調理実習～ゆで卵とサラダ～」

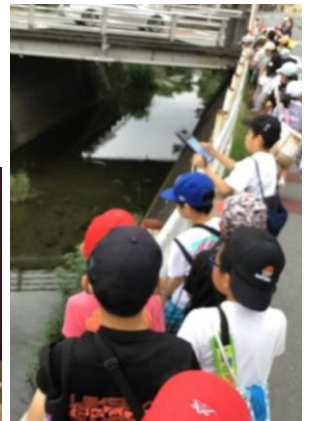
「福祉体験～車いすの補助～」

「自転車教室～一時停止を確実に～」

「国語～物語の様子を体で表現～」

「委員会発表～ステージ上で劇～」

「校区探検～身近な川の様子～」



先日は休校へのご対応、ありがとうございました。小さな子どもたちの安全を第一に判断させていただきましたが、急な決定となり、大変ご迷惑をおかけしました。今後も台風などにより、同様のことが起こる可能性があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

個人情報保護のため、写真は鮮明度を落として掲載しています